

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 関連事業に係る区の大会遺産（レガシー）について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業に係る区の大会遺産（レガシー）について、杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会（以下「区民懇談会」という。）の意見等を踏まえ、以下のとおり報告します。

1 区民ボランティア

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）を契機に、杉並区交流協会及び杉並区ボランティアセンターと連携して募集を開始し、関連事業に協力いただいた。これらの区民ボランティアの方々には、今後も区の各事業において活動の場を提供していく。

区制施行90周年 記念事業	・ボランティアの活動の場を提供していく。
すぎなみフェスタ 2022	・ボランティアの活動の場を提供していく。
ホームステイ・ホ ームビジット支援 事業	・交流自治体等の物産展（通年）、すぎなみフェスタ（11月）において、ホストファミリーと交流自治体等住民との交流を進めていく。 ・台湾野球（10月）におけるホームビジットを継続して実施していく。

2 事前キャンプを契機としたホストタウン交流の継続

大会を契機にホストタウンとなった3か国との交流継続を図り、区民等に対する多様性への理解促進及び多文化交流の推進につなげていく。

イタリア	・毎年開催されるビーチバレーボールのワールドツアー東京大会（7月）に合わせ、永福体育館での交流を協議していく。
ウズベキスタン	・ウズベキスタン大使館と、すぎなみフェスタ（11月）等を活用した文化交流を実施していく。
パキスタン	・パキスタン国内において日本の廃材を活用したエコバッグを制作し、区内イベントにて販売していく。（7月）

3 区民懇談会

区民懇談会は、将来にわたり大会の有益な遺産（レガシー）を残していくことを目的として設置された。同懇談会は令和3年12月をもって解散となったが、各分野において任意団体として継続する意向であるため、区としても、引き続き連携していく。

スポーツ分野	・区及びパキスタン大使館と連携し、「クリケット」を通じた交流事業を実施していく。(10月)
地域活性分野	・杉並の新しいおみやげ「すぎぱん」を、区内イベントや商店街等で継続して販売していく。(通年)
こども分野	・区内催しにおいて、カルタや紙芝居を活用した子ども向け体験事業を継続して実施していく。(通年)

4 その他

区は、大会を契機に取り組んだ文化プログラムのうち以下の2事業を継続していく。また、記念誌及び記録映像等を制作し、大会における区の実績を後世に継承していく。

文化プログラム	・和文化発信事業「BATA ART EXHIBITION」(8月)を継続して実施していく。 ・スギナミウェブミュージアムを活用した情報発信を継続して実施していく。(通年)
記録の制作	・記念誌「東京2020 杉並の軌跡」制作する。(3月発行) ・記録映像「東京2020 杉並の軌跡」(ブルーレイ版 15分・30分)を制作するとともに、YouTubeにて配信。(12月)
銘板の制作	・事前キャンプの受け入れを記念し、高円寺体育館及び永福体育館に銘板を掲出する。※別紙参考



東京2020オリンピック競技大会
ウズベキスタン共和国 ボクシング
事前キャンプ地



2021年7月5日～22日の18日間、ウズベキスタンボクシングチームが杉並区で事前キャンプを行い、その練習会場として高円寺体育館が提供されました。事前キャンプの期間中には、江戸手妻や東京高円寺阿波おどりの公演が行われるなど、互いに交流を深めました。

From July 5th to 22nd, 2021, the Uzbek team performed a pre-camp in Suginami City, and the Koenji Gymnasium was provided as the facility. During the pre-camp period, we deepened mutual exchanges, such as performances by Edo Tezuma and Tokyo Koenji Awa Odori.



東京2020オリンピック競技大会
イタリア共和国 カヌー（スプリント）
事前キャンプ地



2021年7月27日～31日の5日間、イタリアのカヌー（スプリント）チームが杉並区で事前キャンプを行い、その練習会場として永福体育館が提供されました。事前キャンプの期間中には、オンラインを活用した区民交流会を実施し、カヌー競技の魅力を紹介するなど交流を深めました。

From July 27th to 31th, 2021, the Italia team performed a pre-camp in Suginami City, and the Eifuku Gymnasium was provided as the facility. During the pre-camp period, We held an online inhabitant exchange meeting to deepen exchanges by introducing the appeal of canoeing.

